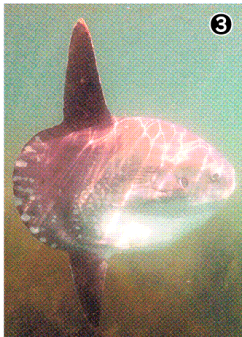
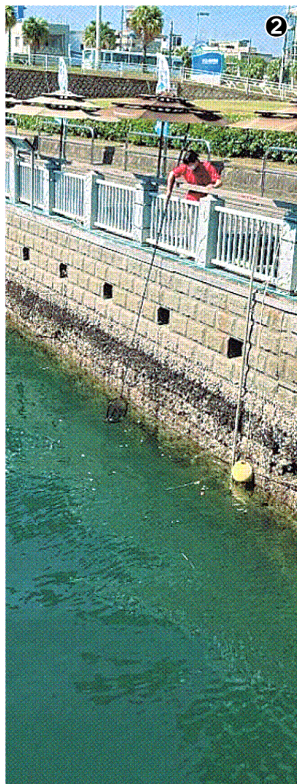




①水路でジャンプするハンドウイルカ②柄の長い網を使って水面のごみを集める職員③水路で泳ぐマンボウ④夏に水路で展示しているシイラ



2003年から冬にマンボウ、10年からは夏にシイラを展示しています。マンボウは想像以上に速いスピードで泳ぎます。運が良ければジャンプも見られます。

かごしま水族館に隣接するイルカ水路は、錦江湾の一部を利用した無料の展示施設です。北、中央、南の3エリアがあり、全長275メートル、幅20〜50メートルです。1997年の開館当初は、潮の満ち引きのタイミングが合わず、ハンドウイルカを出せない日がありました。せっかくの水路をもっと活用しようと、イルカ以外の生き物の飼育に挑戦することになりました。



イルカ水路 海のごみ問題も考えて

す。シイラは水面付近を群れて遊泳し、青緑色の美しい体を見せてくれます。イルカが館内のプールと水路を自由に往来できるように、改修工事を重ねました。今では毎日展示できるようになっています。魚やイルカを追いかけたり、冬に生い茂る海藻を体に引っ掛けて遊んだりする姿が観察できます。

屋外にあり、海につながる水路には、悩ましい問題もあります。陸や海からペットボトルやビニールなどのごみが入ってくるのです。イルカは好奇心旺盛で何にでも興味を示すので、誤って飲み込むこともあります。職員が毎日1時間ほどかけて、水面だけでなく、水中のごみも潜水して取り除きます。

このような海のごみはイルカだけでなく錦江湾に住む生き物にも悪い影響を与えます。削減に向け、私たち一人一人に何ができるか、考えることから始めませんか。

(展示課海獣展示係主任・大瀬智恵)